

# ラジオNIKKEI 月曜日16時～

## 『キラメキの発想』 資料

2024年4月15日放送分

番組では個人投資家・トレーダー向けに相場を大きく動かしそうな内部・外部要因について、OPトレーダーの視点から、さまざまなファンダメンタル指標やテクニカル指標などを用いて分析していきます。なお、主宰しているオプション倶楽部の詳細については倶楽部サイト「[optionclub.net](http://optionclub.net)」をご覧ください。「OP売坊戦略」で検索！



OP売坊



# 24年6月限SQまでの注目イベント (P.2)

## <米国>

4月25日：GDP速報

**5月01日：FRB政策金利**

5月03日：雇用統計（4月分）

5月14日：生産者物価指数（4月分）

5月15日：消費者物価指数（4月分）

5月22日：FOMC議事録

**6月12日：FRB政策金利**

## <欧州・英国>

5月09日：英国政策金利

6月06日：欧州政策金利

6月20日：英国政策金利

7月18日：欧州政策金利

## <日本>

4月26日：消費者物価指数（東京4月分）

**4月26日：日銀政策金利**

5月31日：消費者物価指数（東京5月分）

**6月14日：日銀政策金利**

6月14日：メジャーSQ

※第二金曜日（原則）は日経225OP期近限月の未決済建玉が清算されるSQ日のため、OPトレーダーにとって区切りとなる日です。

今月からカレンダーを月曜始まりとさせていただきます

4月中旬から5月中旬にかけて決算発表期となります。為替の影響が、どの程度あったかに注目しています。また、各企業が前提とする24年度の為替レートとそれに基づく業績予想にも注目しています



### 2024年4月

15 16 17 18 19 20 21

22 23 24 25 26 27 28

29 30

### 2024年5月

1 2 3 4 5

6 7 8 9 10 11 12

13 14 15 16 17 18 19

20 21 22 23 24 25 26

27 28 29 30 31

### 2024年6月

1 2

3 4 5 6 7 8 9

10 11 12 13 14 15 16

17 18 19 20 21 22 23

日経225ミニオプションのSQ日

日経225ミニ先物・マイクロ先物、月次オプション、ミニオプションのSQ日

メジャーSQ 日経225先物・ミニ先物・マイクロ先物、月次オプション、ミニオプションのSQ日

祝日取引実施日

注) 予定は予告なく変更される場合があります。  
出所) ブルームバーグ、ロイターなどから筆者作成

※OP売坊公式X (旧Twitter) @OP49431790でもニュースについてつぶやいています。



# OP売坊のグレイ・リノ (P.3)

サイは普段おとなしいが怒ると、とっても怖いのだ

- 🐘 気候変動等による食料価格高騰・食料危機
- 🐘 地政学的リスクの複雑化 (ウクライナ・中東・台湾など)
- 🐘 ウクライナ含む世界の難民増 (2023年5月: 1.1億人)
- 🐘 日米欧中の経済政策不確実性上昇・債務増・増税懸念
- 🐘 2024年米大統領選 (世界的な選挙イヤー)
- 🐘 米国の不動産バブル崩壊懸念とインフレ再加速
- 🐘 基軸通貨「米ドル」の没落とBRICSの台頭
- 🐘 中国の不動産バブル崩壊と経済崩壊の懸念
- 🐘 日本の2024・25・30・40年問題と人口減加速
- 🐘 自民党の裏金問題と総裁選 (2024年秋)
- 🐘 日銀の金融政策変更
- 🐘 日本の金融システムなどへの不安
- 🐘 新世界秩序
- 🐘 バフェット指数 (株式時価総額÷名目GDP) の異常値



日本銀行は黒田元総裁による負の遺産から脱出しようとしている状態です。しかし、すでに手遅れ、手詰まりの状態でしょう。利上げをすれば、日銀が自らの首を絞めることになるからです



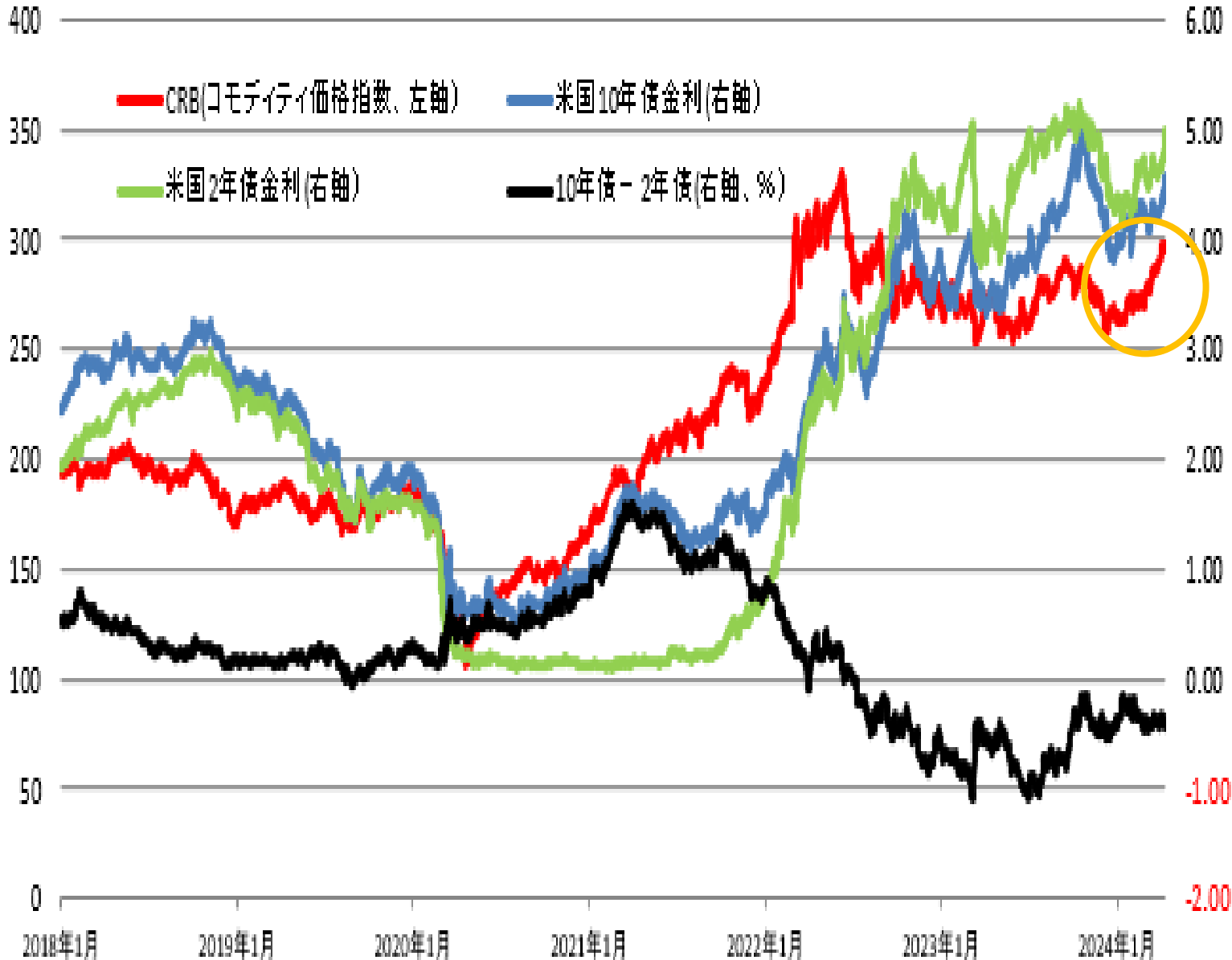
など

グレイ・リノ (灰色のサイ) とは、高い確率で大きな問題を引き起こすと考えられるにも関わらず、軽視されている事象のこと。それが起これば大きな値幅が出るため、OPトレーダーに重要となる。特にPUT買いを仕掛けられる可能性や、破産もあり得るPUT売りを避けられる可能性が高くなる。



# CRB指数の上昇に注目 (P.4)

2年物・10年物米国債利回りとその差（イールド幅）、CRB指数（コモディティ価格指数）



インフレ低下期待とは裏腹に、CRB指数が上昇基調を継続しています。その一因としてグローバル化からブロック化への進展が挙げられます。一カ所集中での、いわゆる大量生産のメリットがなくなってきたからです。なお、景気の強さもありますが、紙の（ペーパー）資産から実物資産への流れとも考えています

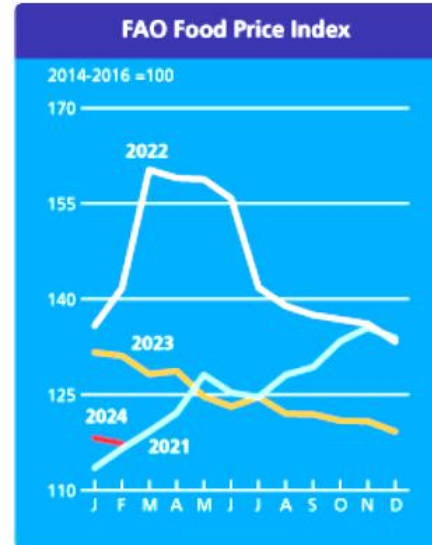


# カカオ豆が銅より高くなってきた (P.5)

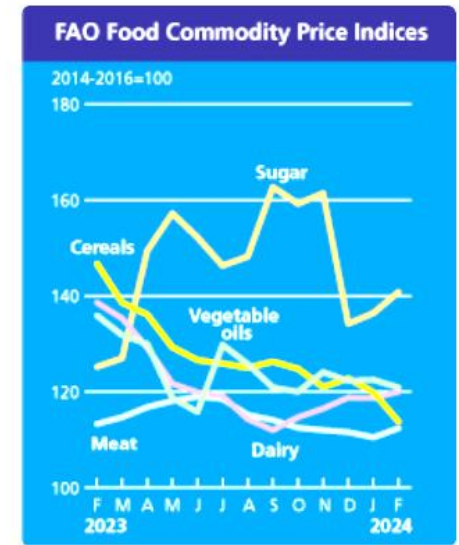
## ICEカカオ先物価格 (1トン当たり米ドル)



## FAO食料価格指数



## FAO食品価格指数



出所) FAO (国際連合食糧農業機関)

## LME銅先物価格 (1トン当たり米ドル)



不作に対する食料・食品価格の感応度の高さを認識しておきたいと考えています。それだけ需給がタイトだということです。FAOの数字は若干、遅効性があります。これが上昇してくるかに注目すべきでしょう





# エネルギー自給率と食料自給率 (P.6)

## エネルギー（資源）自給率

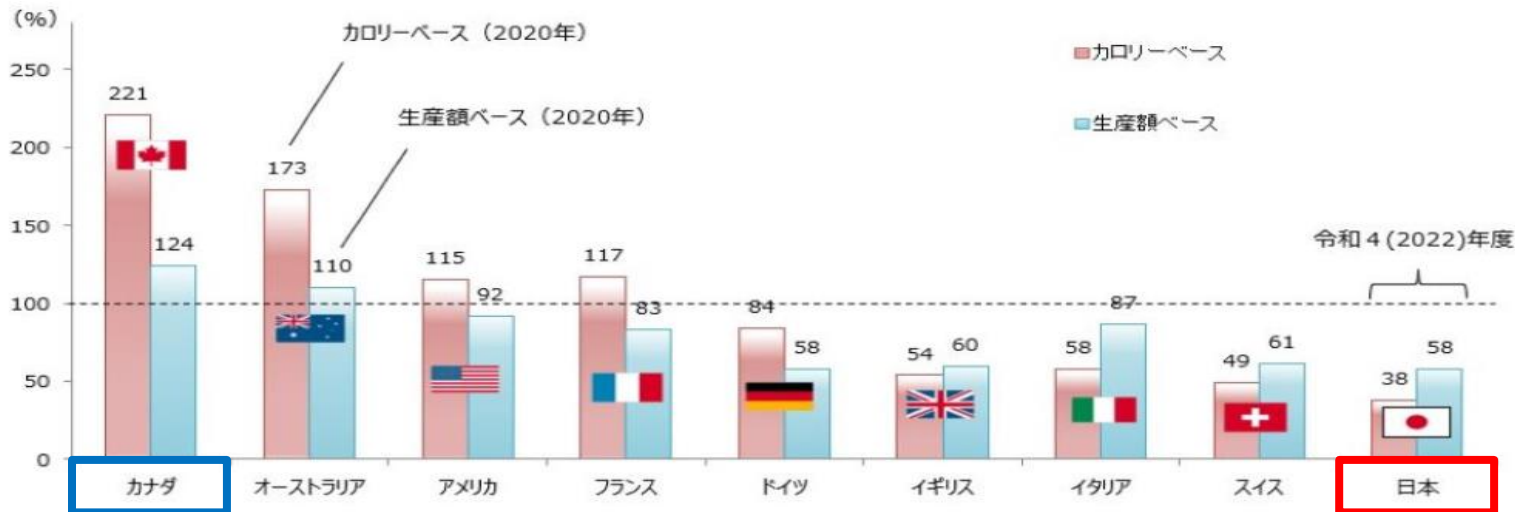
	エネルギー自給率 (2021年)	ロシアへの依存度 (2020年の輸入量におけるロシア比率) ※日本のみ2021年		
		石油	天然ガス	石炭
日本	13%	4%	9%	11%
イタリア	23%	11%	31%	56%
ドイツ	35%	34%	43%	48%
フランス	54%	0%	27%	29%
英国	61%	11%	5%	36%
米国	104%	1%	0%	0%
カナダ	186%	0%	0%	0%

出典：World Energy Balances 2022、BP統計、EIA、Oil Information、Cedigaz統計、Coal Information、貿易統計

日本の立ち位置を確認しておきましょう。日本のエネルギー自給率は最低水準です。原油の90%を中東に依存しているなかイスラエルの地政学リスクが高まっています



## 食料自給率



資料：農林水産省「食料需給表」、FAO「Food Balance Sheets」等を基に農林水産省で試算。(アルコール類等は含まない)  
 注1：数値は暦年(日本のみ年度)。スイス(カロリーベース)及びイギリス(生産額ベース)については、各政府の公表値を掲載。  
 注2：畜産物及び加工品については、輸入飼料及び輸入原料を考慮して計算。

FAOの『世界の食料安全保障と栄養の現状(2022年度版)』によると地球上で人口の1割に当たる8.2億人が飢餓に直面しているとのことです



# エネルギー（資源）と食料のマトリクス（P.7）

各国・地域をエネルギーと食料の自給・依存に分類

<b>第2グループ</b>		<b>第1グループ</b>	
食糧	◎	食糧	◎
エネルギー	×	エネルギー	◎
<b>第4グループ</b>		<b>第3グループ</b>	
食糧	×	食糧	×
エネルギー	×	エネルギー	◎

◎ = 十分または、かなり自給    × = 輸入にかなり依存

人間生活には食料とエネルギーが特に重要です。また、紙の（ペーパー）資産から実物資産への流れが現在あるとすれば、上記のマトリクスで定義された「第1グループ買い+第4グループ売り」のスプレッド戦略を考案できるかもしれません



資源価格

製造業の収益

上昇

低下要因

下落

上昇要因





# 円安で日本株は見方によっては一人負け：更新（P.8）

コロナショック後の円建てS&P500・円建てインドNIFTY・金・日経平均



平均年齢（2020年）

- インド： 28.43歳
- 世界平均： 30.55歳
- ASEAN平均： 31.18歳
- 米国： 38.31歳
- 日本： 48.36歳

出所) 国連



以前もこのスライドを提示しましたが、日経平均は海外株との比較で、まだまだ一人負けの様相です。成長に限界が来ている段階では、長期分散投資よりもロング＝ショート戦略のほうが有効でしょう

出所) TradingView (円建て・2024年4月12日現在)





# インフレを考慮すれば、金はまだ高値を更新していない (P.9)



金には2つの側面があります

- 1) 貨幣の代替
- 2) 資源としての価値



米国のインフレで調整をした実質ベースでみるとNY金価格は2011年8月の天井を超えていません。インフレを加味すると最高値まであと約1割の上昇余地があるとも考えられます



# 為替介入？ 資金は何処から (P.10)

## 2023年9月末に日本銀行が保有する外貨資産の残高

### 1. 外貨資産の種類別残高 (注1)

(単位：億円)

外貨資産 (注2)	103,261
外貨預け金	33,165
外貨債券	44,311
国債	32,427
国債以外の外貨債券	11,884
外貨投資信託	827
外貨貸付金 (注3)	24,957

### 2. 外貨債券の残存期間別残高 (注1)

(単位：億円)

外貨債券	44,311
残存期間 1年以下	124
残存期間 1年超 5年以下	44,186

出所) 日本銀行

## 2024年1月末に日本が保有する米国債の残高

# 1.153兆ドル

出所) US Department of Treasury

## 2022年9・10月時の介入金額とドル円相場

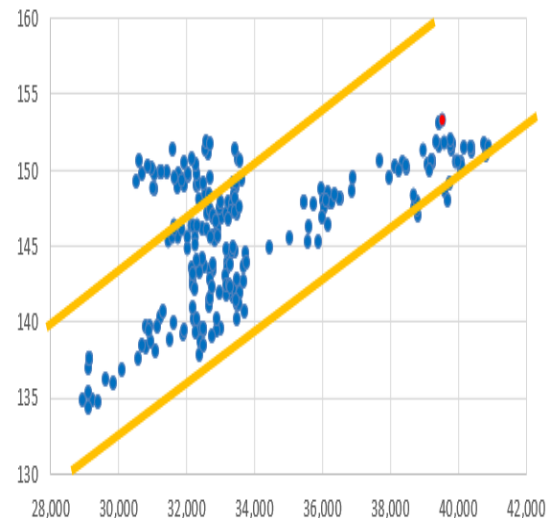
### 介入金額

2022年9月に  
2兆8382億円

2022年10月に  
6兆3498億円



## 2021年末から2024年4月12日の日経平均とドル円の分布図



出所) ブルームバーグより筆者作成

2022年の円買いドル売り介入は9月が2.8兆円、10月が6.3兆円程度でした。そして現在、日経平均にとって1円の円安は700~800円の上昇要因です





## OPで分散運用 (P.11)

日経225OP

+

商品

農産物・貴金属

FX



ボラ

株式

債券

例えば、ドル高円安が日経平均に追い風になると考えるなら

◎日経225CALL売り

+

◎ドル円PUT売り

で分散運用が考えられます



分散戦略では、両方が大きな損失を被ることがないように組み合わせることになります。単純な一例では、日経225CALL売りにドル円CALL売りを加えるとドル高円安リスクがさらに深まることとなります



## OP売坊が実践している主な戦略分野（P.12）

1

### 日経225OP基本戦略

225CALL売りを主戦略にグreek（リスク指標）を使わずに、安全重視のトレードで毎月コツコツと安定的な収益が出せる「運用者」になることが目標です。

2

### 日経225OP応用戦略

相場観に基づいた組み合わせ戦略でOPトレードの練度を高めます。OPと証拠金の特性を理解した後は、OPの奥深さと醍醐味を楽しめる達人になることが目標です。

3

### 米国株OP戦略

現物株・ETFの特性を生かしたホイール戦略を中心に戦略を中心に、証拠金の用途が日経225OPに比べてつきやすい米国株OPで運用の幅を広げることが目標です。

4

### FX-OP戦略

スワップポイントの優位性を生かしたカバード戦略を中心に、大局的・局所的に運用収益の改善を図れるような思考を磨いていくことが目標です。また、その他の戦略への選択肢も広めていきます。

5

### その他

ミニ先物・マイクロ先物を利用したNTトレードやCFDを利用したロング＝ショートなど、市場分析の結果からスプレッド戦略の機会を見出せるようになることが目標です。

#### <戦略例>

- ◎ OPの本質をつかめば、統計学に基づく売坊流CALL売り戦略は、現在の上昇局面は好都合な面も
- ◎ 3月には4回のOP買いタイミングも（SQ、配当落ち日、日米金融政策決定会合、年度末）
- ◎ 貴金属ETFや金採掘銘柄へのOP戦略。債券ETFやVIXのOPも
- ◎ 株式よりもボラティリティが低いFX-OPを用いた複数戦略
- ◎ スプレッド戦略（ロング＝ショート戦略）は相場暴落時に有利

**[注] 上記は参考として例示したものであり、将来の収益を保証するものでも投資を推奨しているものでもありません。**



## OP売坊の無料メルマガ『グレイ・リノ通信』

# 売坊先生のYouTube動画を何倍にも楽しめる

補足Q&A記事やOPトレードに関する情報などを配信しています！



- 日米**“実質”**利回り差とドル円の相関が高いのは、なぜですか？
  - 裁定取引の**“手口”**から、どのようなことがみえてくるのですか？
  - 日本銀行に**“暗黒の水曜日”**が起こり得るのは、なぜですか？
  - 米国が陥っている**“政策金利のジレンマ”**とは、何ですか？
  - 個別株を安く買いたいなら**“PUT売り”**が有効なのは、なぜですか？
- ……など

お気軽にご登録ください！



**登録**はオプション倶楽部のポータルサイト  
<https://www.optionclub.net/>  
でメールアドレスを入力するだけ!!



オプション倶楽部

検索



YouTubeで『オプション倶楽部TV』を配信中！

# 水曜22時からパンローリングチャンネルで！！

3つの視点で日本株・米国株・為替などの市場を大きく揺るがしそうな材料を分析します



第一週  
政治経済イベント分析



第四週※  
異常値分析



第二週  
グレイ・リノ分析

第五週はトレード・投資に役立つ  
OPワンポイント解説



第三週※はラジオNIKKEI月曜16時～

『キラメキの発想』に出演！

<https://www.radionikkei.jp/kirameki/>



ラジオ放送も情報提供の一環と位置づけており、ラジオ出演週の水曜配信は、お休みとさせていただきます。

※祝日や暦などによってラジオ出演と異常値分析が入れ替わる場合があります。

専用ページ <https://www.panrolling.com/tv/opctv.html#/>

---

**最後までご清聴、誠にありがとうございました。**

**OP売坊ブログ『実践オプション教室』**

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

**OP売坊X（旧ツイッター）『@OP49431790』**

<https://twitter.com/OP49431790>

**Copyright © 2019-2024 OP売坊 / Pan Rolling Inc.**

**All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.**

# 免責事項

---

- オプション倶楽部TV（以下「本動画」）で使用した図表・数値などは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。
- 本動画に掲載された情報・図表・資料は、あくまで金融知識の向上と情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。
- 本動画は一般向けに編集されています。特定の投資目的・特定の投資環境・特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。
- 本動画に基づく行為の結果、発生した障害・損失などについて講師およびパンローリング社は一切の責任を負いません。
- 本動画に記載されたURLなどは予告なく変更される場合があります。
- 本動画に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。